

踊りに 行くぜ!!

新作制作から上演までをフルサポートするプロジェクト

セカンド
II

vol. 4

「JCDNダンス作品クリエイション&全国巡回プロジェクト」

2014年2月8日(土) 17:00開演

2月9日(日) 15:00開演

仙台市宮城野区文化センター

in SENDAI

「踊りに行くぜ!!」II vol.4仙台公演では、せんだい演劇工房10-BOXと協働で、新たにCプログラム(地元選出作品)を設けました。作品を創作できる作家を、そして、東北発信の作品を輩出していく拠点になるような場でありたい、と考えています。どうぞご期待ください。

からだメディア研究室

<http://odori2.jcdn.org/4/>



【撮影:GO(go-photograph.com)】

A

ダンスプロダクション

作家・演出家が作品に必要な構成メンバー(美術・音楽・映像など)を編成し作品制作を行います。(A₁…若手作家、A₂…経験のある作家)

【撮影:飯嶋康二】

14年前、家族のもとを去った。
自分の居場所を失った。
1年前、言葉を失った。
夢とは、現実とは、ここにいる自分とは何か。
ほとんどの思考を失ったが、しかし、新たに得たピースの1つは、
"ところが自由に動く感覚"だった。
ここは、からだと同様、踊ったり、そっぽを向いたり、
頬っぺたを膨らませたり、ほほえんだりする。
「ことばのむこう」に見え隠れする、人のところ。
新たに得たピースを糧に、「ことばのむこう」に佇む風景を、
ダンス・音楽・美術で、つむいでゆく。

日本女子体育大学舞踊学専攻に入学、以後本格的にダンサーを志す。舞台・TV・イベント・バックダンス等で活動する。柿原竜也作品への参加をきっかけにコンテンポラリーダンスと出会う。新上裕也、柳本雅寛、幸内未帆などの作品に参加する。「Nibroll」の企画公演に参加、東京・台湾でソロ作品を発表。2004年より現在まで「YUJA DANCE SCHOOL」を主宰。

モリタヨシコ

A₂

ZERO ONE

余越保子 (N.Y.)

上演地/鳥取 仙台 東京 京都
ダンス・イン・レジデンス@鳥の劇場;鳥取

監修・演出・振付/余越保子
共同振付・出演/福岡まな実、福岡さわ実
映像コンサルタント/峯利子
衣装・美術/岩崎晶子



ZERO ONEのテーマはダンスそのものです。

ZEROからONEへ一保留された時間と空間一停止しながらもずっと存在しているカラダを目撃することのリアルな感覚とはどのようなものなのか?魂の存在と不在とはなにを意味するのか?魂があるカラダを生きるとよび、抜けたカラダを死んでいるとよぶ、しかし、人は生きる痛みをカラダに残したまま、魂のみを浮遊させることができるのか?

まったく同一であり、異なるふたつのカラダ、それを見つめている「あなた」の中でさまざまに行き来する知覚的発見は「私」の中の発見とまったく異なります。あなたの中に生まれる何かを同時にひたすら見つめる。

～ゆえに～である、というロジックや安易な説明を深く拒み、時間と身体性をパワフルに存在させることで一わからぬといわれるコンテンポラリーダンスへの一般的な偏見や先入観をシンプルに明確に転換し、ダンスへの眼差しを説明不要にまで遠くへ広げることを課題とします。

ヨコシヤスコ

広島県出身。ニューヨーク在住。1996年よりニューヨークをベースに作品を発表。2003年と2006年ベッシー賞を連続受賞しニューヨークダウンタウンダンス界の話題を集める。アメリカ初の試みである劇場主催型レジデンスプログラム(New York Live Arts 主催)2012-13年度レジデントコミッションアーティストに選ばれ今年3月に「ベル」を発表。ZERO ONEは余越が日本でつくる初のダンス作品。



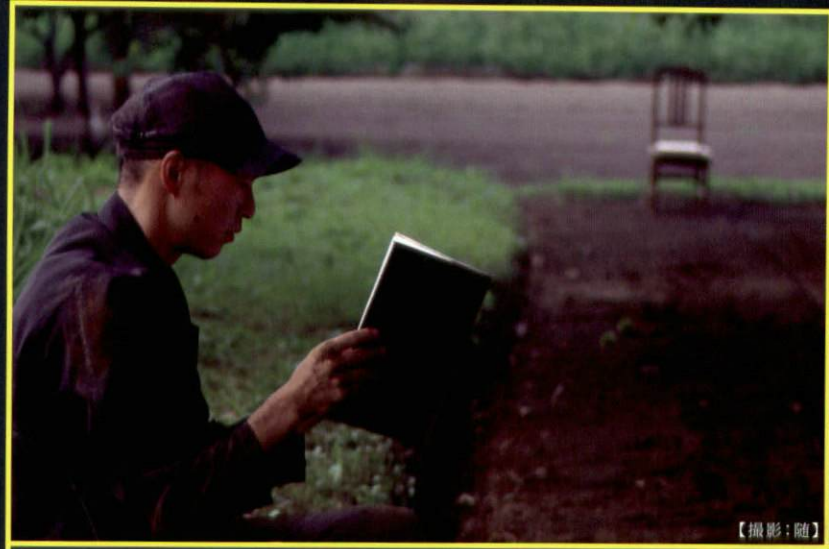
【撮影:Peggy Kaplan】

★制作現場から巡回公演まで、作家・主催者の裏側を徹底的に密着取材する「報告するぜ!!」

B

リージョナルダンス

演出家・振付家が仙台に滞在し、地元で募った
出演者と新作を制作、上演します。



【撮影：随】

B

夢を見ているわけじゃない

佐成哲夫 (埼玉)

演出・構成・振付 / 佐成哲夫
出演 / 遠藤佳那子
佐々木碧
芝野友里子
竹内美紀
本田新里
吉田健一

夢を見てた。その夢は、おかまいなしに次から次へと場面も時間も変化し、記憶の中に閉じ込められていた断片が溢れ出し誇張され、ひとつの世界を創り出していた。普通ではあり得ないことも違和感を感じず、そこで生まれたストーリーはあたかも現実であるかのような錯覚を覚える。また、頭の中で空想や妄想として存在している想像の世界も、時に夢の中のようなものと捉えられる。

それらの夢、あるいは夢のような状態から目覚めた瞬間、新鮮な感覚に襲われる。

「これが現実だ」と。

夢と現実という二つの世界の対比、夢からの覚醒の瞬間が生み出すリアルな現実感を創出したい。

サナリテツオ

1996年多摩美術大学卒業。在学中より演劇を中心にダンス、映像を学ぶ。1998年自らのカンパニーを立ち上げグループワークでの作品創りをするも2004年に活動休止。以後、様々な場でのソロパフォーマンスを軸に、他作品への出演や演劇作品への振付などを行う。SPAC振付コンクール2001にて最優秀賞受賞。「ダンス白州」、「DI Dance」、「なぼフェス」、「鳥の演劇祭」などに参加。



【撮影：GO(go-photograph.com)】

C

地元選出作品

10 | BOX 夏の学校「創作実験アトリエ / OFFアトリエ」を
経た演出家・振付家による地元枠選出の作品を上演します。



【撮影：川村智美】

C

まつりのあと

菅野光子 (仙台)

演出・構成・振付 / 菅野光子
出演 / 岩住浩一
川熊美貴
後藤史織
高橋幸介
千葉瑠依子
振付サポート / 川畑えみり
衣装・美術 / ハリカネミホ

たくさんの生き物が、うまれては消える。いのちも暮らしも文明も、その痕跡すら残すことができない。

今という時間も、いずれ全ては失われていくだろう。いつまでも変わらずにあってほしい場所も、人も、私をつくりあげてきた全てが失われる。確かなものは、何も無い。自分さえ。

幾度ももの生と死を繰り返しながら、時を越えてその営みを紡ぎ続ける。

私たちは無力で、生の時間はほんの瞬間に過ぎないけれど、残された手ざわりの記憶を抱いて、踊っている。その煌めきが、ふたたび時を越えて誰かのもとに届くように。

私たちは今、生きているから。

カンノミツコ

1978年、福島県生まれ。大学生のとき、演劇を始める。数年を挟んで、福島県の劇団シアターラボで役者、スタッフとして活動。仙台市へ移住しボカリン記憶会・明神慈氏によるWS「色のない」への参加をきっかけに演劇に限らない身体表現に興味を持ち、少しずつ勉強中。演出助手、照明スタッフとして活動。2010年、仙台劇のまち戯曲賞大賞作品「はだか道」の仙台公演、2012年、他力會「寿歌Ⅱ」にて、演出助手を務める。2013年踊りに行くぞ!!! Vol.3仙台公演にて村本すみれ作品「ツグミ」に出演。



【撮影：川村智美】

■仙台上演作品

Aプログラム／森田淑子「ヤマナイ、ミミナリ」・余越保子「ZERO ONE」

Bプログラム／佐成哲夫「夢を見ているわけじゃない」

Cプログラム／菅野光子「まつりのあと」

※上演順ではありません。

■日時

2014年2月8日(土)17:00開演

2月9日(日)15:00開演

2月9日(日)終演後、出演者によるアフタートークを予定しております。

※開場は開演の30分前。

※演出の都合上、上演中の入退場はできません。予めご了承ください。

■会場

仙台市宮城野区文化センター パトナシアター

TEL 022-257-1213

〒983-0842 仙台市宮城野区五輪2-12-70

<http://www.stks.city.sendai.jp/>

■チケット

一般 前売2,500円／当日3,000円

学生 前売1,500円／当日2,000円

■プレイガイド

仙台三越／バルショップ(S-PAL1階)／火星の庭

せんだい演劇工房10-BOX／ローソンチケット(Lコード24691)

■ネットでのご予約

JCDNダンスリザーブ

—ダンスオンライン予約サービス—

<http://dance.jcdn.org/>

「踊りに行くぜ!!」IIの全てのチケットはこちらで予約可能!

JCDN会員への割引サービスあり。



“ダンス作品をつくるプロジェクト”

何を信じるべきなのか、何が幸せなのか、

揺らぎ見えにくくなっている今、

私たちは、アーティストのつくりだす“作品”にその答えを求め、

重ねあわせようとしているのではないのでしょうか。

作家が深く思考錯誤した軌跡そのものが“作品”という形となり、私たちに生きる力や発想、かけがえのない価値あるものとして、投げかけてくれます。

“作品”の持つ力は、世界の価値観そのものに

影響をあたえることができます。

JCDNは、「踊りに行くぜ!!」IIで“ダンス作品”の

新作づくりに取り組みます。

本プロジェクトでは、抽象的な表現を得意とする“ダンス”の特性を活かし、作家の描きたい世界観、あるいは主題を明確に伝えることのできる“ダンス作品”の制作を目指します。

そのために、それぞれの作家が、テーマ、コンセプトに

基づいた演出・構成・振付をしながら、

オリジナルな手法を見出し、作品制作に専念できる

〈ダンス・イン・レジデンス〉を取り入れた2つのプログラムを用意しました。

「A／ダンスプロダクション」 「B／リージョナルダンス」

ここでつくりだされた6作品は、全国6ヶ所にて上演します。

他ジャンルのアートでは表現できない

“ダンス作品”の発明をすること。

それが「踊りに行くぜ!!」IIの目的です。

どうぞお立会いください!

水野立子／プログラム・ディレクター

■お問い合わせ・共催・制作

からだメディア研究室

〒981-8007 仙台市泉区虹の丘4-12-6

Tel.022-375-0068 handy.090-3757-2548(ちば)

Mail sendai_odorini2@yahoo.co.jp

URL http://www.geocities.jp/sendai_odorini2/

■仙台公演協働

せんだい演劇工房10-BOX

■仙台公演協力

仙台市宮城野区文化センター

■全体企画・制作



NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN)

〒600-8092 京都市下京区神明町241 オパス四条503

TEL 075-361-4685 FAX 075-361-6225

E-Mail jcdnjp@ybb.ne.jp

web <http://www.jcdn.org/>

文化庁委託事業「平成25年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

■主催

文化庁／NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN)

■助成

公益財団法人 アサヒグループ芸術文化財団

公益財団法人 セゾン文化財団

■協賛

トヨタ自動車株式会社

■協力

Asahi アサヒビール株式会社